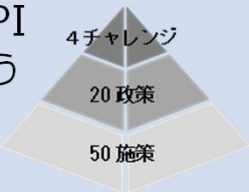


主要指標といばらき幸福度指標の考え方（素案）について

資料 5 - 2

- 第2次茨城県総合計画では、**主要指標といばらき幸福度指標**の2つの指標を組み合わせながら、県民幸福度ナンバーワンへの取組を進めている。

	主要指標	いばらき幸福度指標
目的	総合計画に掲げる政策・施策に紐づくKPIとして位置付け、計画期間の4年間で取組と直接リンクするような項目を設定し、計画の進捗評価に活用 	県民一人ひとりが、自身のかなえたい夢の実現に向けて挑戦を続けられる環境の整備状況を数値で把握 
特徴	- 県の実績による成果が直接反映される指標や、施策目的に対し適切な成果を表す指標などを設定 ※政府統計だけでなく、県独自の調査などを含む	- 各指標は、公表されている政府統計等を基に、客観的な指標で幸福を定量的に把握 - 各指標を都道府県間で比較可能な数値に変換し、全国順位を算出のうえ、公表
指標数 (2025.10時点)	92指標（再掲7指標含む）	42指標

（参考）取りまとめ、公表イメージ

区 分	2024	2023	増減
「順調である」	10	11	▲ 1
「成果をあげつつある」	10	9	+ 1
「取組の強化が求められる」	—	—	—



✓ 4つのチャレンジを構成する20政策ごとに、3区分で評価

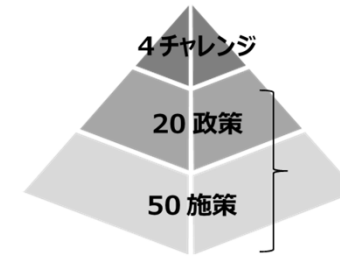
1



✓ 各チャレンジごとの全国順位と総合順位を公表

新しい総合計画における主要指標の考え方（素案）について

【政策体系及び数値目標】



【主要指標（92項目）】
政策を構成する50施策における主要な指標

1. 現況

- 主要指標は、現計画において1施策に1項目以上設定の上、各主要指標ごとに評価（A～D評価など）を行い、政策・施策の進捗状況を評価している。
- 政策・施策の進捗状況は、毎年、総合計画審議会に報告・審議いただくとともに、県議会決算特別委員会での報告などを行っている。

2. 課題

- 主要指標のなかには、県の取り組むべき政策・施策の進捗状況を明快に評価できない指標などが含まれており、毎年度の分析・評価、今後の対応の検討が難しく、スピード感を持った施策展開等につなげられていないものがある。

3. 主要指標の考え方（素案）

- 新しい総合計画では、重点的に取り組むべき施策に紐づく、いわゆる「骨太な指標」を設定する。
- また、政策・施策の進捗を評価する主要指標について、分析・評価からスピード感を持った施策展開等につなげ、「新しい茨城」づくりに向けた挑戦を続けていくため、指標の内容や目標値が適切かどうかを以下の4つのメルクマールにより確認する。

【主要指標のメルクマール】

- ① 県の取組による成果が直接反映されやすい項目であること
※主観評価（アンケート調査結果）による指標から、進捗状況をより客観的に評価できるような指標へ極力見直しを図る 等
- ② 当年度中に当年度実績がある程度把握できること（当年度中に当年度実績のレビューを行えること）
- ③ 施策目的に対し適切な成果（アウトカム）を表す項目であること
- ④ 「新しい茨城」づくりに向け挑戦的な難易度であること（『知恵を絞りながら』取り組まなければ達成できない難易度であること）